

命あるもの幸せになる権利がある。

捨て犬から第一号セラピードッグとなった名犬チロリが、

身をもって私たちに遺してくれた熱い思い。

その思いを胸に、私たちの長い闘いは当時65万頭殺処分から、

今約2.3万頭というところまでたどり着きました。

あと一步でこの国から忌まわしい現実をゼロにすることができます。

この国が真の動物愛護国として胸を張っていただけるように。

人間と動物の命のあり方を今一度考え、

幸せに生きていく「共存」を真に考えなければなりません。

私たちはこれからも、全国の愛犬家・愛猫家のみなさまから届く

たくさんのエールと共に、その歩みを続けていきます。

そして、多くのみなさまからのご支援に心から感謝申し上げます。



一般財団法人 国際セラピードッグ協会 創始者

一般社団法人 大木動物愛護協会 創始者

弘前学院大学 客員教授

大木 トオル



一般財団法人 国際セラピードッグ協会
INTERNATIONAL THERAPY DOG ASSOCIATION



一般社団法人 大木動物愛護協会
OKI AWA : OKI ANIMAL WELFARE ASSOCIATION

私はこの活動を心から称賛し、推薦いたします。

私の敬愛する大木トオル先生は、気高い志の動物愛護家であり、世界各国で絶賛された音楽家でもいらっしゃいます。

また、わが国においては、セラピードッグの育成・普及のパイオニアであり、捨て犬たち、被災犬たちの救助のために心血を注ぐ姿は、まことに崇高であります。

私はこの活動を心から称賛し、推薦いたします。



写真提供：小学館
聖路加国際病院 名誉院長
故 日野原 重明

命をつなぐ

Save the Last Lives V

HISTORY OF ITDA THERAPY DOG

一般財団法人 国際セラピードッグ協会

OKI AWA

一般社団法人 大木動物愛護協会

東日本大震災 福島からの救助
(2012年)
ゆきのすけ

Founder
大木トオル

コロナ禍 福島からの救助
(2020年)
ルーシー



一般財団法人 国際セラピードッグ協会
INTERNATIONAL THERAPY DOG ASSOCIATION



一般社団法人 大木動物愛護協会
OKI AWA : OKI ANIMAL WELFARE ASSOCIATION

Prologue

犬達と音楽の出会いで救われた



東日本大震災直後の福島から救出、現在はセラピードッグとして活躍する「ゆきのすけ」と

挨拶文

2年以上に及ぶコロナ禍の中で、世界中の人々が自国の医療の現実を知り、命の尊厳を今一度考えるようになりました。又、人間と同じように犬・猫達も長い歴史の中で感染症と闘い多くの命を失ってきました。その数は計り知れないものです。しかし、獣医学の発展と共に愛犬・愛猫家によるワクチネーションの普及が犬・猫達の命を救ってきました。その反面人間が犬猫を捨て殺処分に追い込んでいく現実、絶対にあってはならないものです。

私たちは、人間と動物の命のあり方を今一度考え、幸せに生きていく「共存」を真に考えなければなりません。

そして今こそ日本は殺処分廃止を現実にし、早く世界に誇れる動物愛護国の仲間入りをする必要があります。スポーツと音楽と動物愛護の3つは、国境を越え人種や宗教そして差別をも乗り越え、世界中の人々を1つにしてくれるものと考えます。

もう一度、「命あるもの幸せになる権利がある」このスローガンに魂を込めて、全国の多くの愛犬・愛猫家そして保護団体の皆さんと共に活動していく決意であります。

「命あるもの 幸せになる権利がある」



4歳時の私と愛犬

犬木トオル

New York City Since 1977

アメリカの動物愛護と社会福祉

多民族からなるアメリカ合衆国では、人種差別の問題がいつになっても続いている。しかし、スポーツ、音楽、そして動物愛護はすべての人が一緒になれるのです。



人間の高齢と病気、そして心身のケアはどの国も同じです。

音楽家として米国に永住した後、社会福祉をライフワークとしてセラピードッグの育成と高齢者や障がい者へのケアをセラピードッグと共に続ける。



1979年アメリカでセラピードッグの育成をスタート



認知症や歩行のリハビリに貢献する



ニューヨーク州の高齢者施設でのセラピードッグ活動



ニューヨークの獣医師達は24時間動物達の命を救うために活動する



1999年大都市ニューヨークの動物達の救助に活躍するASPCAの医師団とスタッフ、およびボランティアと共に

Help!

殺処分される捨てられた犬猫たち

1973年の動物愛護法成立から
日本はいつまでこの惨いことを続けるのか。

Rescue from misery and death

この炎は、悲しみの炎です。



Photo by 大石成通

Can you look the other way?

殺処分寸前の捨て犬たちの救出

この子達は立派なセラピードッグとして育成された。



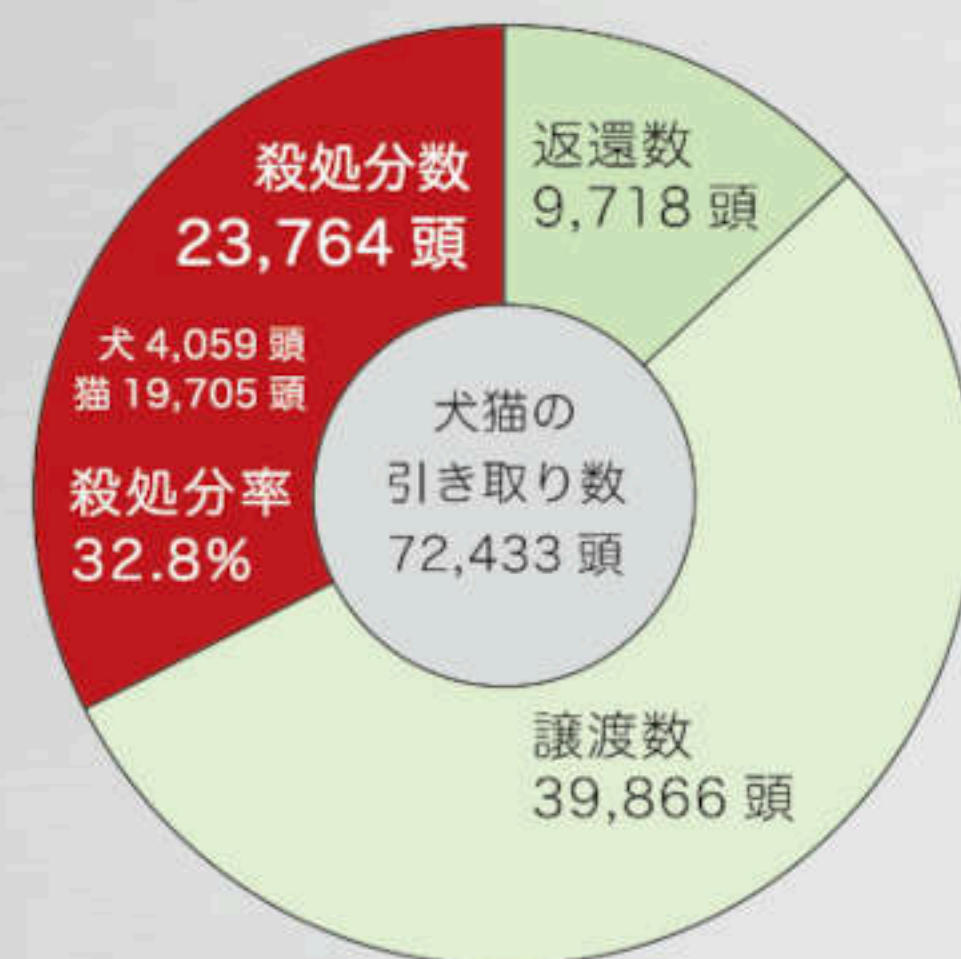
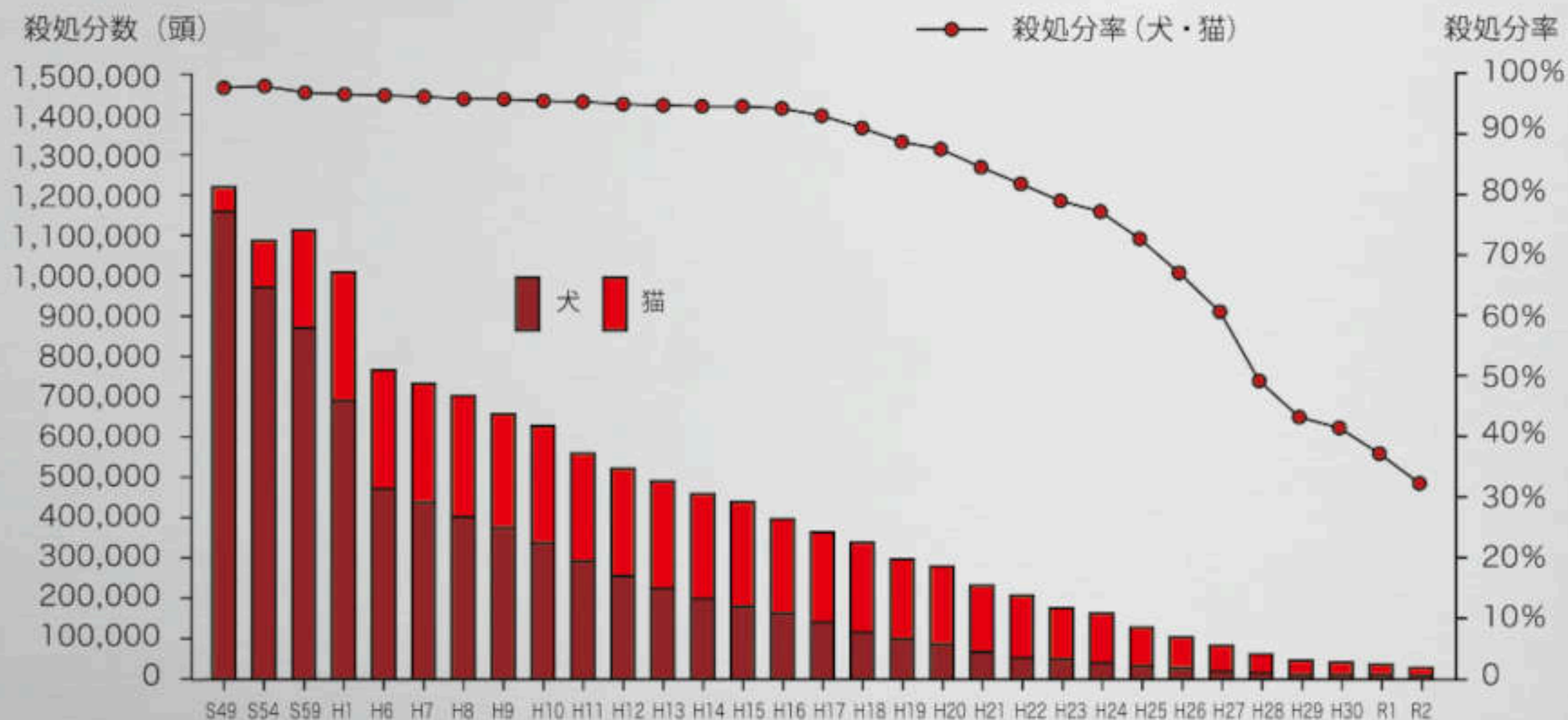
ガス室で殺処分を待つ犬たち

ガス室に送り込まれ殺処分された犬たち

殺処分された犬達の残された首輪

焼却された捨て犬・猫達の最後の姿(粉骨)

全国の犬・猫の殺処分数、殺処分率の推移



環境省 HP 令和2年度 統計資料より

悲願、殺処分数0になるその日の実現へ。

私たちと全国の愛護団体の活動により、平成13年頃まで軒並み95%以上であった殺処分率は年々大幅に低下し、殺処分される数も減少しつつあります。しかし今だに多くの犬猫が犠牲となっており、令和2年度には、捨て犬・捨て猫のうち、**23,764頭 (殺処分率32.8%)**が殺処分されました。

太郎丸：栄養不良により衰弱し、危険犬種の土佐犬として殺処分の対象になる。
(2014年12月 福島県会津市)

Protect & Care

震災や水害被災犬の救出、そしてコロナ禍での捨て犬達の救出。

様々な過酷な状況により家族を失う犬達の救出活動が続く。

むさし：福島県の山間部を放浪中、トラバサミにより右前肢を失う。
その後行政に捕獲され野犬として殺処分の対象に。
(2012年6月 福島県いわき市)

◇被災犬の救助：土佐犬『太郎丸』のケース



栄養不良によりあばら骨が浮き出るほど衰弱した救出時の様子。また体には傷が多く悲惨な状態だった。「太郎丸」と命名。



健康を回復し、セラピードッグの訓練を受け、人との信頼を取り戻す。



しかし突然の脳梗塞に見舞われ急死。みんなから愛された「太郎丸」(2020年8月)。

◇被災犬の救助：『むさし』のケース



東日本大震災後、福島県の山間部を放浪しトラバサミにより右前肢欠損。最悪の健康状態と人間不信により殺処分の対象に。



健康を回復し、人との信頼を取り戻す。



セラピードッグとして活躍する現在の「むさし」。

◇コロナ禍の福島、生後約5ヶ月で保護され、健康を回復。元気と明るさを取り戻した『ルーシー』は、日本初秋田犬のセラピードッグになるために教育を受けている。



コロナ禍、生後約5ヶ月で捨てられた秋田犬「ルーシー」。



信頼と愛情を取り戻す。



様々なトレーニングを受ける「ルーシー」。



殺処分直前のガス室から救出した「金次」と「銀次」。

◇被ばくした被災犬の救助：『金次・銀次』のケース

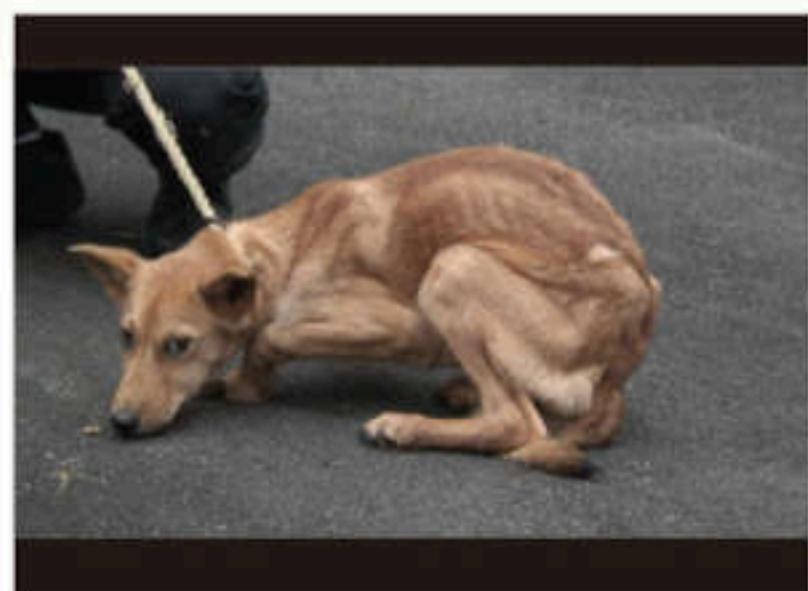


除染をし、被ばくの数値を下げ、健康を取り戻していく。



セラピードッグとして活躍する「銀次」。

◇被災犬の救助：『福』のケース



福島いわき市の殺処分寸前の救出。山林で4ヵ月、行政による捕獲後小さなケージで4ヵ月を過ごした姿。「福」と命名。



健康回復、元気になった「福」。



セラピードッグとしてリハビリ歩行に貢献する「福」。

◇被災犬の救助：『ゆきのすけ』のケース



野犬として、捕獲され、その時に抵抗をしたことから凶暴と判断され殺処分が決まる。



現在の「ゆきのすけ」。



2年間の教育を受け、人間への信頼を取り戻し、セラピードッグとして生まれ変わった「ゆきのすけ」。

震災後10年以上、継続して運営されている福島・いわき被災犬緊急保護センター。

被災犬を受け入れていた福島・いわき被災犬緊急保護センター。震災から時間が経ち、これまで通りの運営ができなくなってきた行政より引き継ぎました。国際セラピードッグ協会は、地元愛護団体と共に、センターの運営を継続しております。すべての被災犬たちが、未来に向けてその一歩を踏み出せるまで、私たちはこれからも、彼らを守る活動を続けます。



(一財)国際セラピードッグ協会
福島・いわき被災犬
緊急保護センター

Training to be a Therapy Dog

40年以上かけて作り上げた教科書は、すべて現場からの体験で生まれた。

セラピードッグのトレーニングは犬達だけではなく、人間のハンドラーの育成も急務です。誰かのためにセラピードッグを通して何が出来るか、誠実、忍耐、そして技術を学んでいきます。



教育方針はたくさん褒めて育てていく。喜びと笑顔が絶えることはありません。

人への信頼を取り戻し、誰よりも愛情深く、また教育を受けた犬達は社会貢献する立派な姿に生まれ変わります。

We are all family

一つとして差別なく
人も犬も皆、ファミリーになっていきます。



Animal Assisted Therapy... Bringing Smile to People

動物介在療法 ～人々を笑顔に～ 生きる楽しさを。

捨て犬からセラピードッグになった犬達は全国からの熱いエールの中、年間延べ12,000名の高齢者と障がい者の心身のケアにあたっています。



あきらめない事が奇跡の症例を作っています。

セラピードッグ『チロリ』と中里さんとの出会いは、障がい乗り越えて生きる勇気と希望をもたらしました。



チロリとのリハビリにより
自分の手でスプーンを持てるようになった。



明るい笑顔を取り戻した。



チロリとのアイコンタクト。

セラピードッグ『チロリ』と長谷川さんとの回復症例は、アルツハイマー病への生きる勇気を与えたのです。



チロリとのアイコンタクト。



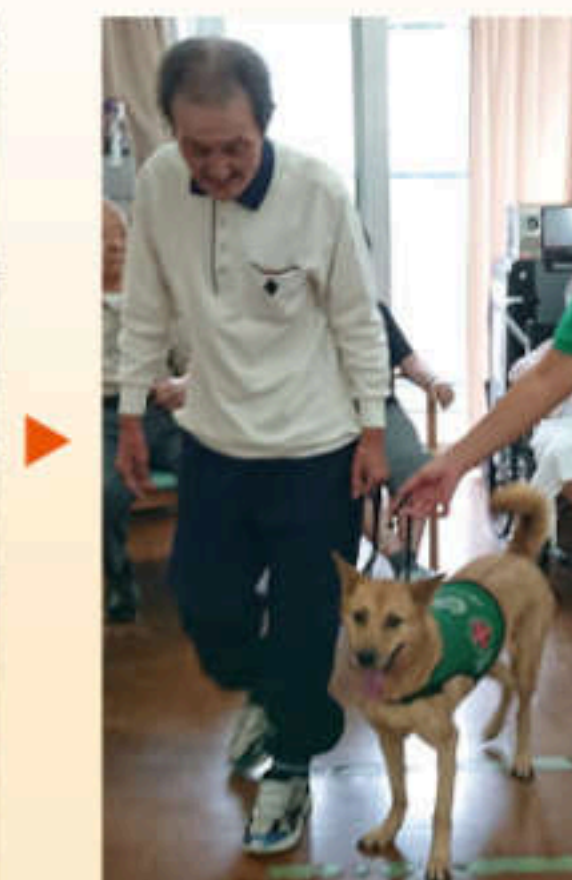
チロリとの行動は要介護5の重度の状況から笑顔、記憶、
会話の回復をもたらし、そして車椅子から立ち上がり
歩行できるようになる奇跡的な回復を生みました。
4年半を共に活動した長谷川さんの最後の言葉は、「チ
ロちゃん、ありがとう…」を何度も繰り返したのです。

突然の難病により歩行不能と診断された
山野井さんの症例。セラピードッグ『こたろう』と
『福』との歩行リハビリにより歩けるように！

福島の被災犬『日の丸』と『きずな』が、
福島の仮設住宅の皆さんへ里帰り。



ギブスを装着し、杖をつきながらの
歩行リハビリ。「こたろう」と。



セラピードッグとの長きに渡る
歩行リハビリの末、現在、杖なしで
歩行する山野井さんと『福』。



「日の丸」



「きずな」



We are all family!

殺処分寸前に救出し、命をつないだ仲間たち。

Medical Care

救出から死を迎えるまでの一生を
最善の医療と共に。



2019年11月25日 午後5時45分
誰からも愛されたピースは安らかに眠りについた

Memorial Room

セラピードッグたちの
メモリアルルーム。

捨て犬からセラピードッグになり、多くの人を救い、医療・福祉の世界に多大な貢献をした
セラピードッグ達、リタイア後の穏やかな生活と共に静かに眠りについた。



◇メディカルケア：認知症を発症した『ピース』のケース

2000年、福岡で救出。2019年11月25日永眠(推定20歳)。約15年間に渡り日本における第一期のセラピードッグとして名犬チロリと共に多くの高齢者及び障がい者をケアした。また2004年映画「犬と歩けば〜チロリとタムラ〜」の主演を演じ話題となった。



福岡市内、
保護当時の「ピース」。



チロリの後を継ぎ2代目セラピードッグリーダーとなり、活躍する「名犬ピース」。



老齢により認知症を発症するが、「ピース」らしいおだやかな生活をおくる。

◇メディカルケア：『ララ』のケース

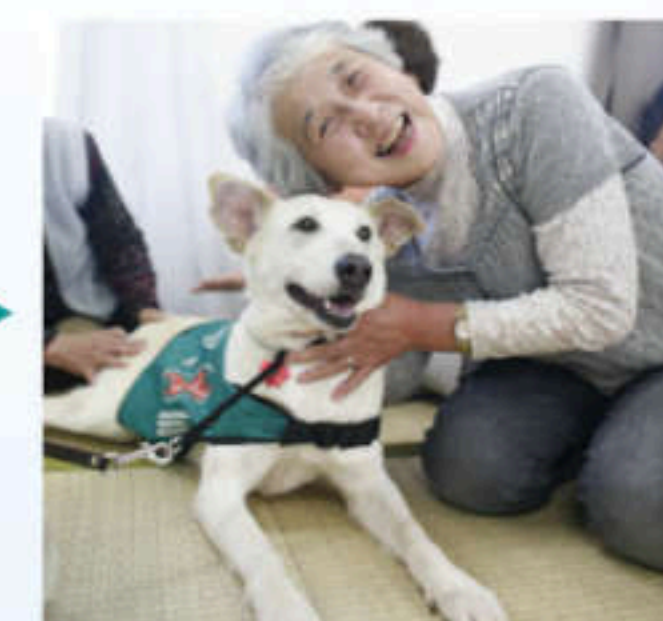
2006年、千葉県動物愛護センターで殺処分寸前を救助。その後教育を受け優秀なセラピードッグへと成長し、多くの高齢者の皆さんに笑顔と生きる勇気を届け社会福祉に大きく貢献し、殺処分の減少に多大な影響を与えました。



2006年、殺処分直前の係留所から救助。
左から「ララ」、「ブギー」、「サラ」と命名。



健康回復した「ララ」(右)と仲良しの「もも」。
優秀なセラピードッグに成長。



福島県の仮設住宅でのセラピー活動。



リンパ腫闘病の「ララ」。危篤に陥り動物病院にて懸命の治療を受ける。



多くの人に愛された「ララ」。2021年2月25日(推定16才)安らかに眠る。

Medical Care

名犬チロリ 最後のアイコンタクト

いつも私の腕の中に抱かれて救出した犬達はセラピードッグとして立派に活躍した後、最期はもう一度私の腕の中に抱かれて天国へ旅立つ。



名犬チロリ 2006年 3月16日 乳がんにより永眠（推定16才）。

Ceremony

名犬チロリお別れの会

2006年 全国から多くの参列者を迎えた 名犬チロリのお別れの会。チロリの功績を称え、たくさんの表彰状、感謝状が授与されました。



◇メディカルケア：『ミッキー』のケース

当時多くの捨て犬達が殺処分されていた千葉県のセンターから救出。愛らしい小さなミッキーは高齢者施設や障がい者施設の皆さんに愛された。そして千葉県の殺処分の減少に大きく貢献した。



2005年、殺処分直前の係留所から保護された当時の「ミッキー」。



健康を取り戻しセラピードッグとなった「ミッキー」。



セラピードッグとして高齢者施設などで活躍。



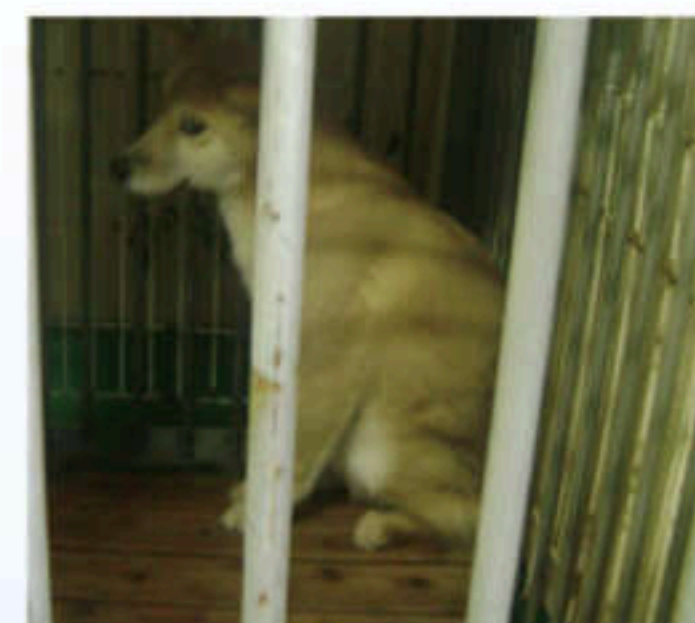
2018年、血管内腫で酸素室に入り闘病する「ミッキー」を見守る、ありし日の「ピース」。



大好きなハンバーガーに囲まれて棺の中で安らかに眠る。2018年7月19日（推定14才）

◇メディカルケア：全盲になった『幸』のケース

最高の医療を受けるため、特別な眼科専門医のもと治療を試みるが回復不可能の診断を受ける。しかしみんな元気に明るく生きている。



2011年 福島、保護当時の「幸」。



健康を取り戻しセラピードッグとして活躍する「幸」。



2017年、眼病を発症 左目は義眼になりその後右目も失う。



全盲の犬達

全盲の犬達「光希・ハグハグ・秋姫」と共に。



元気に明るく暮らす現在の「幸」。

Education & Enlightenment

動物介在教育・啓発活動は講演会やセラピードッグ活動を通して
多くの人々への共感と共に、次の世代へ伝えていきます。



Online Activity

新型コロナウイルス感染対策として「オンラインセラピードッグ活動」、
「オンライン動物愛護講演会」等を開催し
全国からのニーズに応え大きな反響を頂いています。



リモートによるオンラインセラピードッグ活動。
福島の被災犬「日の丸」は高齢者の皆さんに多くの元気と生きる勇気を与えています。

教育の現場や、医師及び医療にかかわる人々への講演

全国教育機関、弘前学院大学、慶応義塾大学そして医師会、薬剤師会、病院等で講演を続けています。



TEDx 日本橋への出演



東京大学医学部附属病院



名犬チロリの本は長い間、児童書として日本中の子供達に愛されています。
チロリを通して全国の子供達へいじめのない命の大切さを伝える講演を
続けています。

聖路加国際病院名誉院長 故・日野原重明先生
「日本の医療はセラピードッグたちの力を借り、
人間に生きる勇気を与えなければならない。」



スペシャルオリンピックス世界大会 2005 長野

知的発達障害の方々の自立や社会参加を目的として開催される国際的なスポーツ競技会に参加し、
セラピードッグ達がアジア圏を中心に世界のアスリートの心のケアや聖火リレーに参加しています。



各国のアスリートへの心のケア



聖火リレーへの参加



Lesson 4

Chirori— from Stray to Therapy Dog

セラビードッグは、医療施設や老人介護施設などで、患者と触れあってその弱った心身を回復させたり、リハビリの手助けをしたりする犬です。アメリカ在住のブルースシンガー、大木トオルさんはミュージシャンとして活動するかわら、ライフワークとして1970年代からアメリカでセラビードッグの普及や育成に取り組んできました。東京にセラビードッグの訓練施設を作り、日本にセラビードッグを広める準備をしていた大木さんは、1992年、1匹の捨て犬に出会います。この出会いが日本のセラビードッグの門を開くことになりました。

Until one has loved an animal, a part of one's soul remains unawakened.
—Anatole France

40 LESSON 4

チロリのストーリーが英語の教材として掲載される



'Therapy dog' Chirori honored

Statue draws attention to work with elderly patients

J A statue of a white dog, Chirori, has been unveiled at a nursing home in Tokyo, honoring the dog's role as a therapy dog. The dog, which was found as a stray in 1992, has become a beloved companion for many elderly patients. The statue, created by a local artist, stands as a testament to the power of animals in improving the lives of the elderly. Chirori's story has also been featured in various media, including a book and a television special, further cementing its status as a national hero.

K Sniffer dogs help fight DVD piracy. In a recent development, sniffer dogs have been used to detect and retrieve illegal DVD copies. These dogs, trained to recognize the unique scent of pirated discs, have proven to be highly effective in law enforcement operations. This technology is being used in various countries to combat the growing problem of digital piracy.

DAYLY YOMIURI June. 3. 2007

Press & Recomend

私たちの活動に、大きな注目が集まっています。



大反響を
頂きました

人気ブルースシンガー 犬との絆で笑顔を広げる
G 13(月) 夜10時

NHK 総合テレビ「逆転人生」放送・出演
2021年9月13日 放送・出演
NHK 総合テレビ「逆転人生」
～ブルースシンガーの挑戦 犬との絆で笑顔を広げる～

最前線 現場

被災犬で動物介在療法

東日本大震災の被災地で、被災者や高齢者へのケアが課題となってきた。動物介在療法（アニマルセラピー）が注目されている。被災犬やボランティア犬が、被災者や高齢者の心身を癒す役割を果たしている。動物介在療法は、動物との触れ合いを通じて、被災者のストレスを軽減し、心の回復を促す効果がある。また、高齢者の認知症予防や、障害者のコミュニケーション能力向上にも役立つ。被災犬は、被災地での活動を通じて、被災者の生活を支えている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。

東京

東日本大震災の被災犬 セラビードッグに

苦しみを知らず寄り添える

被災犬セラビードッグの活動が注目されている。被災犬は、被災者や高齢者へのケアに貢献している。セラビードッグは、被災者の心身を癒す役割を果たしている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。被災犬は、被災地での活動を通じて、被災者の生活を支えている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。

読売新聞

被災地の犬 再出発

被災地の犬が再出発している。被災犬は、被災地での活動を通じて、被災者の生活を支えている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。被災犬は、被災地での活動を通じて、被災者の生活を支えている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。

THE YOMIURI SHIMBUN

読売新聞

「すべての命救う」最後まで

被災犬セラビードッグの活動が注目されている。被災犬は、被災者や高齢者へのケアに貢献している。セラビードッグは、被災者の心身を癒す役割を果たしている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。被災犬は、被災地での活動を通じて、被災者の生活を支えている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。

読売新聞

「命あるものは幸せになる権利がある」

被災犬セラビードッグの活動が注目されている。被災犬は、被災者や高齢者へのケアに貢献している。セラビードッグは、被災者の心身を癒す役割を果たしている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。被災犬は、被災地での活動を通じて、被災者の生活を支えている。動物介在療法は、被災地での重要な活動の一つとなっている。

日本経済新聞 2012年2月2日

読売新聞 2012年5月28日

朝日新聞 2018年9月8日

Memorial 名犬チロリの功績を讃える記念碑

名犬チロリ亡き後、2007年に東京都中央区銀座の築地川銀座公園に多くの高齢者や障がい者への貢献を称え、名犬チロリ記念碑が建てられました。チロリの社会福祉貢献は、犬史に残ると共に日本の動物愛護法に多大な影響をもたらしました。



チロリの本は長い間、児童書として日本中の子供達に愛されています。書籍等の売り上げの全ては、救助された捨て犬・被災犬達の医療費とセラピードッグ育成のために寄付されます。



名犬チロリ記念切手 書籍等は当協会ホームページ、または各書店より販売されています。



ブルースシンガー大木トオルの書籍、写真集、DVD、CD(ソニーレコード、エイベックスレコード、ドリーミュージック)等多数。大木トオルミュージックグッズの売り上げは全て救助された犬達の医療費に寄付されます。

救助した捨て犬、被災犬たちの医療費とセラピードッグ育成費、そして殺処分廃止の実現のため、みなさまからのご支援、ご協力をお願いしております。ご寄付は『国際セラピードッグ協会ウェブサイト』から

(一財) 国際セラピードッグ協会 公式 SNS

- Youtube CHIRORI CHANNEL [チロリチャンネル]
- TikTok CHIRORI FAMILY [チロリファミリー]
- 公式 Facebook
- 公式 Twitter



故・名犬チロリから命をつなぐ動物愛護のスピリッツ

殺処分から救い出した犬たちを
セラピードッグに育成する活動を通して、
動物と人間の幸せを実現し、
「命あるもの幸せになる権利がある」
という想いで社会を変えていきます。



初代セラピードッグリーダー 名犬チロリ



大木トオル 代表プロフィール

音楽家、一般財団法人 国際セラピードッグ協会 創始者
一般社団法人 大木動物愛護協会 創始者、弘前学院大学客員教授
東日本被災犬保護プラザ代表、社会福祉学者(日米)

東京日本橋人形町生まれ。1976年渡米、米国在住。全米音楽界で唯一、東洋人ブルースシンガーとして全米ツアーを成功させるなど、人種の壁を乗り越えて世界的に活躍する。ゼネラルプロデューサーとしても多くのビッグアーティストを育て、日米のブラックミュージックの架け橋として長く活躍、「ミスターイエローブルース」と称賛される。一方、動物愛護家として日米の友好・親善に貢献。捨て犬と被災犬達の救助と共にセラピードッグ育成のパイオニアとして日米の動物愛護の普及を44年にわたり行い、動物愛護法の改正に大きく貢献している。又高齢者施設、障がい者施設、病院、教育の現場などで活動し、多くの症例と成果を出している。セラピードッグ訓練カリキュラムの考案者として活動中。



一般財団法人 国際セラピードッグ協会®
INTERNATIONAL THERAPY DOG ASSOCIATION



一般社団法人 大木動物愛護協会®
OKI AWA · OKI ANIMAL WELFARE ASSOCIATION

《一般財団法人 国際セラピードッグ協会》 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-3-5 ソレイユ人形町7F
TEL : 03-6231-0573 FAX : 03-6231-0574 Email : info@therapydog-a.org URL : https://therapydog-a.org/



Save the Last Lives

命をつなぐ

殺処分ゼロを目指して

一般財団法人 国際セラピードッグ協会では、
殺処分寸前の捨て犬・被災犬達の救出、セラピードッグへの育成
社会福祉の現場でのセラピードッグ活動、現役を引退した犬達の最後の看取りまで…、を
最善の医療と共に一貫して行っております。
そのため一頭のセラピードッグの生涯には、多大な費用が必要となり
みなさまからの温かなご支援・ご協力をお願いしております。
全国の愛犬家・愛猫家から届くたくさんのエールを力に、
捨て犬・捨て猫の「殺処分廃止」を実現するために今後も歩み続けます。

みなさまからのご支援で、できること…

(例)・年1回の狂犬病予防接種(1頭分)	約3,000円
・8種混合ワクチン接種(中型犬1頭分)	約8,000円
・慢性腎不全(初期)の薬代(中型犬1ヵ月分)	約10,000円
・慢性的眼病の眼科検査と点眼薬代(大型犬1ヵ月分)	約20,000円
・中型犬1頭健康診断(血液検査・レントゲン・超音波)	約30,000円
・ノミ・マダニ駆除1ヵ月分(25頭分)	約60,000円
・眼病外科療法(手術)	約250,000円～ etc…

お振込先【銀行】三井住友銀行 銀座支店 普通口座:8321937
口座名義:一般財団法人 国際セラピードッグ協会
【郵貯】郵貯口座:00140-9-758345
加入者名:国際セラピードッグ協会育成基金

※捨て犬・被災犬達への医療費とセラピードッグ育成のために大切に使用させていただきます。
※(一財)国際セラピードッグ協会では、駅前などでの「街頭募金」は行っておりません。

詳しい内容、ご寄付については、
『国際セラピードッグ協会ウェブサイト』から

ホーム
ページ
リンク



ご寄付
リンク



一般財団法人 国際セラピードッグ協会®
INTERNATIONAL THERAPY DOG ASSOCIATION



一般社団法人 大木動物愛護協会®
OKI AWA · OKI ANIMAL WELFARE ASSOCIATION

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-3-5 ソレイユ人形町7F TEL : 03-6231-0573 FAX : 03-6231-0574
Eメール: info@therapydog-a.org ホームページ: https://therapydog-a.org/